

第 231 回競技委員会議事録

1. 日 時：2014 年 11 月 5 日（水）18 時 00 分～20 時 30 分

2. 会 場：連盟本部事務局

3. 出席委員：

競技委員会：委員総数 12、定足数 8、出席 12（内委任状 4）で成立。

寺本直志委員長、中谷忠義競技会事業担当業務執行理事

斉藤千鶴乃、山後秀幸、西田博、正村祐一、古田一雄、吉田正

仲村篤志

以下委任状：佐々部君敏、林伸之、西田奈津子

オブザーバー：鈴木正人

4. 議事の経過及び結果：寺本直志委員長を議長に議事を逐一審議した。

第 1 号議案 コンベンションリスト C の 2C オープンと 2D オープンについて

- (1) 2C オープンと 2D オープンのスリースターに関する表記の違いについて 5431 ブレイクのハンドを含むかどうかで内容が異なるため現行の表記になっていることを確認した。改めて 2D オープンの適用範囲について意見があったためコンベンションとアラートに関するワーキンググループにて検討することとした。

第 2 号議案 クラブディレクターの承認について事務局から報告があった。

原 成	82714	C-01047	石川県
及川 日出雄	213455	C-01048	北海道
尾山 真	214977	C-01049	北海道
藤川 恵	187129	C-01050	東京都

第 4 号議案 2014 年度 NEC 杯の招待チームについて

- (1) NEC 杯の招待チームの選定について国際交流事業部から議案の付託があった。
- (2) 各参加チームに関して検討を行った。

第 5 号議案 2015 年度 APBF 選手権の試合形式について

- (1) APBF 選手権の試合形式について主催側から意見が求められことについて、国際交流事業部から議案の付託があった。
- (2) 1 ラウンド 16 ボードで日程が 1 日少ないが 1 日 4 ラウンド行う日がある案と 1 ラウンド 20 ボードで日程が 1 日多い案の 2 通り。
- (3) 16 ボード案はウィメンのプレイするボード数が少なくなるなどの弊害があった。今回の日程ではウィメンの開始日が 1 日遅くなっているため、1 日 2 ラウンドの予定は、ほとんどないため影響が少ないと判断した。1 日 3 ラウンドの 48 ボードに関しては最近の WBF の競技会でも多く開催されているため問題はなく、日程が 1 日少ない 16 ボード案に賛成することとした。
- (4) シニアの試合形式について。スケジュール調整のためにラウンドロビンは 1 回で前半にスイスを行う予定となっている。公平な競技形式でないため 1 日 4 ラウンドの日が多くなってもダブルラウンドロビンを行った方が良いとの意見を別途提案することとした。

第6号議案 その他議案

(1) NT オープンにおける取り扱いについて会員より質問があり討議した。

○現状の対応を確認した。(リストCまで)

- ・コンベンショナルなレスポンスの取り決めがあるアンバランスハンドの NT オープンを取り決めることはできない。
- ・取り決めから逸脱してアンバランスハンドで NT オープンをすることは反則ではない。
- ・暗黙の合意が成立すると、取り決めとして扱われ、コンベンションリスト違反として調整スコアの対象となる。
- ・取り決めた HCP の範囲からの逸脱についても同様。
- ・HCP の範囲からの逸脱について暗黙の合意が成立したときは、点数幅が 5HCP を超えればコンベンションリスト違反、(14)15-18 以外の点数のときはプリアラート及びアラート違反として扱う。

○コンベンションリストのナチュラルに関する定義と、規則の『アーティフィシャルでない』との違いについて意見があった。

○現行の規定についての啓蒙や規定改正の必要性に関しては、改めてコンベンションとアラートに関するワーキンググループにて検討することとした。

(2) 競技会運営規則の最低ボード数規定について鈴木正人事務員より提案があった。

○ローカルレイティングについては、下記のムーブメントを特例として付け加えることとした。

- ・5 ペア 5 ボード 5 ラウンド、ハウエル
- ・11 ペア 2 ボード 11 ラウンド、ハウエル

○現行の規定では 18 ボードのプレイで成立するため、ナショナルの予選として、2 セッションで 36 ボードではボード数が少なすぎないかとの意見があった。ナショナルの予選に関しては試合要項でボード数を定めることができることを確認し、継続審議とした。

次回競技委員会は 2015 年 1 月 7 日 (水) 17 時 30 分からの開催を予定する。

以 上